

- 問1 ある河川の上流部において、谷の出口を頂点として土砂が半円状に積み重なった地形で、多くの果樹園が分布している土地が見られます。このような地形の名称と、そこで行われる主な土地利用の組み合わせとして適切なものはどれかを選びなさい。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. 地形：扇状地、主な土地利用：果樹園や畑 | 2. 地形：扇状地、主な土地利用：工業団地や牧場 | 3. 地形：三角州、主な土地利用：大規模な水田 | 4. 地形：台地、主な土地利用：稲作中心の農業 |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問2 縮尺2万5千分の1の地形図上で、ある歴史的建造物を囲むお堀の内側の範囲を計測したところ、縦2cm、横4cmの長方形の面積に相当することがわかりました。このとき、お堀の内側の実際の面積は何平方キロメートルになりますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-----------------|--------------|------------------|
| 1. 0.5平方キロメートル | 2. 2.25平方キロメートル | 3. 1平方キロメートル | 4. 0.125平方キロメートル |
|----------------|-----------------|--------------|------------------|
- 問3 アフリカ大陸を流れるナイル川と、日本の信濃川の「河口からの距離」と「標高」の関係を比較したとき、日本の河川に見られる傾向を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 信濃川はナイル川に比べて、短い距離の間で標高が急激に変化している。 | 2. 信濃川とナイル川を比較すると、どちらも標高の変化に大きな差は見られない。 | 3. 信濃川はナイル川に比べて、河口から上流までの距離が長く、傾斜が緩やかである。 | 4. ナイル川は信濃川に比べて、短い距離の間で標高が急激に変化している。 |
|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
- 問4 地形図における等高線の仕組みについて、傾斜の度合いと間隔の関係が生じる理由を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 等高線の間隔は土地の利用形態によって決まるため、森林などの急斜面では便宜上狭く描かれるから | 2. 傾斜が緩やかな場所では、地図上の視認性を高めるために等高線の数を増やして間隔を狭くしているから | 3. 標高が高い場所ほど空気が薄くなることを示すため、山頂に近づくほど意図的に線の間隔を狭くしているから | 4. 一定の標高差ごとに線を引くため、傾斜が急な場所ほど水平距離あたりの標高変化が大きくなり、線同士が接近するから |
|--|--|--|---|
- 問5 日本の大動脈である東海地方において、東名高速道路と並行するように新東名高速道路が整備されています。このように、既存の路線と並行して新たな路線を確保する「ダブルネットワーク化」を進める最大の目的は、防災の観点からどのような事態を回避することにありますか。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 路線の分岐点が少ないことで、沿線の工業団地から港湾への所要時間が大幅に遅れる事態 | 2. 大規模な自然災害が発生した際、一方が通行不能になっても交通が完全に遮断される事態 | 3. 観光客向けの休憩施設が不足し、特定の地点で交通集中による大規模な渋滞が頻発する事態 | 4. 大型トラックの通行量を分散させることで、路面の摩耗による修繕費用が増大する事態 |
|---|---|--|--|
- 問6 福井県の若狭湾や三重県の志摩半島付近の統計において、海岸線が非常に複雑に入り組んでいる地域で見られる産業上の特色について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 波の作用によって運ばれた砂が堆積してできた地形であり、広大な砂浜を利用した海水浴場が多い。 | 2. 湾内が外海の影響を受けにくく波が穏やかなため、真珠やカキなどの養殖業が盛んである。 | 3. 海岸沿いに平坦な土地が広がり、大型船の出入りが容易なため、大規模な臨海工業地帯が形成されている。 | 4. 海岸付近が階段状の平坦地になっているため、水はけの良さを活かして果樹園や畑として利用されている。 |
|--|--|---|---|
- 問7 日本のような中緯度の大陸東岸で見られる、夏と冬で吹く方向が反対になる風を何といいますか。この風は、冬はシベリア大陸から、夏は太平洋から吹き、日本の気候に大きな影響を与えます。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 季節風 | 2. 貿易風 | 3. 海陸風 | 4. 偏西風 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 江戸時代に行われた大規模な治水事業によって、かつて東京湾に注いでいた流路を現在の銚子方面（東側）へと大きく変えられた歴史を持つ、日本最大の流域面積を誇る河川はどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 利根川 | 2. 信濃川 | 3. 筑後川 | 4. 木曽川 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 長野県の松本市などに代表される中央高地の気候について、その特徴を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 黒潮の影響を強く受けるため、冬でも温暖で、特に夏から秋にかけての降水量が非常に多い。 | 2. 冬に北西の季節風の影響を強く受けるため、冬の降水量が夏の降水量を上回る。 | 3. 一年を通じて温暖であり、梅雨や台風の影響を避ける地形のため、年間降水量が1000mmを下回る。 | 4. 周囲を高い山々に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温差が大きい。 |
|---|---|--|--|
- 問10 ある都市の気象観測データによると、夏季の六月と九月に降水量の大きな山があり、一ヶ月の降水量が四百ミリメートルを超える時期がある一方で、冬の気温は氷点下にならず、全体として温暖多雨な傾向を示しています。このような気候の特徴が見られる都市として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 北海道の旭川市 | 2. 高知県の高知市 | 3. 香川県の高松市 | 4. 新潟県の新潟市 |
|------------|------------|------------|------------|
- 問11 日本の地形図において、土地の利用状況を判別する際に用いられる地図記号について述べた文として、正しいものを次のなかから選びなさい。なお、検討する記号は「上向きの三角形の頂点から、垂直に短い線が降りているような形状」であるものとします。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|--|
| 1. リンゴやミカンなどの果樹を栽培している果樹園の場所を示している。 | 2. カシやブナなど、葉が平らで広い樹木が広がっている広葉樹林の場所を示している。 | 3. マツやスギなど、葉が細い樹木が広がっている針葉樹林の場所を示している。 | 4. お茶の葉を生産するために、低木が植えられている茶畑の場所を示している。 |
|-------------------------------------|---|--|--|
- 問12 日本の沿岸部などで見られる、四角い枠の中に「人が階段を駆け上がるような様子」と「その背後から大きな波が迫っている様子」が描かれた図記号（ピクトグラム）を用いた標識は、主にどのような目的で設置されていますか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 土砂災害が発生しやすい急傾斜地であることを示すため | 2. 津波が発生した際の避難場所や避難方向を示すため | 3. 大雨による河川の氾濫で浸水する危険があることを警告するため | 4. 大規模な火災が発生した際の緊急集合場所を知らせるため |
|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
- 問13 九州地方の宮崎平野などで、冬の温暖な気候を利用してピーマンやきゅうりなどを出荷時期を早めて栽培する「促成栽培」が盛んな理由の一つとして、周辺を流れる海流の影響を説明したものを選びなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 暖流である対馬海流が日本海側を流れており、冬に温った北西の季節風が吹くため。 | 2. 寒流である千島海流（親潮）が太平洋側を南下しており、夏でも気温が上がらず涼しいため。 | 3. 暖流である日本海流（黒潮）が太平洋側を北上しており、冬でも気温が下がりにくく温暖なため。 | 4. 寒流であるリマン海流が日本海側を南下しており、一年を通じて乾燥した気候が続くため。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地形：扇状地、主な土地利用：果樹園や畑	山地から平地に流れ出る谷口付近に形成される半円状の地形は扇状地と呼ばれます。扇状地は砂や礫で構成されているため水はけが良く、古くから果樹園や畑、あるいは住居として利用されてきました。これに対し、河口付近に見られる泥や砂が堆積した低地は三角州と呼ばれ、水はけが悪いため主に水田として利用されます。
問2	答え 1 0.5平方キロメートル	2万5千分の1の地形図では、地図上の1cmが実寸で250m（0.25km）となります。この長方形の実際の寸法は、縦が250m×2＝500m（0.5km）、横が250m×4＝1,000m（1km）です。これらを掛け合わせることで、0.5km×1km＝0.5平方キロメートルという面積が算出されます。また、地図上の面積が8平方センチメートルであることから、1平方センチメートルあたりの面積である0.0625平方キロメートルを8倍して計算することも可能です。
問3	答え 1 信濃川はナイル川に比べて、短い距離の間で標高が急激に変化している。	広大な大陸を流れるナイル川のような大河川は、長い距離をかけてゆっくりと標高が下がるため傾斜が緩やかです。対して日本の信濃川などは、短い流路の中で一気に山地から海へと流れ落ちるため、断面図を描いた際には急激な傾斜を示すことになります。
問4	答え 4 一定の標高差ごとに線を引くため、傾斜が急な場所ほど水平距離あたりの標高変化が大きく、線同士が接近するから	等高線は、2万5千分の1地形図であれば主曲線が10mごとというように、一定の垂直距離（高さ）の間隔で引かれます。急な斜面では、わずかな水平移動で次の標高（10m上や下）に到達するため、地図上では等高線の間隔が狭くなります。一方、緩やかな斜面では、次の標高に達するまでに長い水平距離を必要とするため、地図上の間隔は広がります。このように、等高線の密度は標高の変化率、つまり傾斜の急緩を直接的に表しています。
問5	答え 2 大規模な自然災害が発生した際、一方が通行不能になっても交通が完全に遮断される事態	日本の東西を結ぶ交通の要所である東海地方では、南海トラフ巨大地震などの自然災害によって道路が寸断されるリスクが常に指摘されています。東名高速道路に加えて新東名高速道路を整備し、二重の交通網（ダブルネットワーク）を構築することで、仮に一方が被災して通行不能になっても、もう一方を代替路として活用し、物資の輸送や救急活動を継続できるようになります。渋滞緩和や移動時間の短縮も利点ではありますが、入試地理の文脈では「国土強靱化」や「リダンダンシー（冗長性）」の確保という防災上の背景が重要視されます。
問6	答え 2 湾内が外海の影響を受けにくく波が穏やかなため、真珠やカキなどの養殖業が盛んである。	若狭湾や志摩半島に見られるリアス海岸は、入り江が深く入り組んでいるため、外海の荒波が遮られて湾内の水面が非常に穏やかになるという特性があります。この環境は、長期間施設を海面に設置する必要がある真珠、カキ、ワカメなどの養殖業に非常に適しています。一方で、平地が少ないため大規模な工業地帯や都市の形成には不向きという側面もあります。
問7	答え 1 季節風	日本はユーラシア大陸の東側に位置しているため、大陸と海洋の温まりやすさの差によって生じる気圧の変化の影響を強く受けます。冬は大陸から冷たく乾燥した北西の風が、夏は太平洋から高温多湿な南東の風が吹くのが特徴です。
問8	答え 1 利根川	利根川は「利根川の東遷（とうせん）」と呼ばれる大規模な工事により、江戸を洪水から守り、新田開発や舟運を盛んにするために流路が変更されました。この結果、関東平野の多くの水系を取り込む形となり、日本で最も広い流域面積を持つに至りました。
問9	答え 4 周囲を高い山々に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく、夏と冬の気温差が大きい。	中央高地は飛騨山脈などの高い山々に囲まれた内陸部に位置しています。海からの湿った空気が山々に遮られるため、年間降水量が日本の平均と比べても非常に少ないのが特徴です。また、海から離れているために「内陸性気候」の性質が強く現れ、地表面が温まりやすく冷めやすいため、夏と冬の気温差（年較差）や一日の気温差（日較差）が大きくなります。
問10	答え 2 高知県の高知市	高知県の高知市は太平洋側の気候に属し、特に黒潮（日本海流）の影響を受けて温暖です。また、夏から秋にかけては湿った南東の季節風や台風の影響を強く受けるため、六月の梅雨時期や九月の秋雨・台風時期に降水量が非常に多くなるという特徴があります。これに対し、新潟市は日本海側の気候、高松市は瀬戸内の気候、旭川市は北海道の気候の特徴を示します。
問11	答え 3 マツやスギなど、葉が細い樹木が広がっている針葉樹林の場所を示している。	地形図では、植生の違いを視覚的に区別するために異なる記号が使われます。三角形のような尖った形状は、スギやマツといった針葉樹の鋭い樹形を模したものであり、針葉樹林を指します。一方、広葉樹林は丸みのある樹形を模した記号で表されるため、山地の植生を判断する重要な指標となります。
問12	答え 2 津波が発生した際の避難場所や避難方向を示すため	この図記号は、津波避難場所や津波避難ビルを示すために全国で統一されたデザインです。波が迫る様子と、高い場所へ逃げる人の様子を視覚的に表現することで、文字が読めない子供や外国人でも、一目で「津波から逃げるための場所」であることを理解できるように工夫されています。
問13	答え 3 暖流である日本海流（黒潮）が太平洋側を北上しており、冬でも気温が下がりにくく温暖なため。	宮崎平野が位置する九州の太平洋側には、南からの暖かい海水を運ぶ日本海流（黒潮）が流れています。この暖流の影響で、冬でも比較的気温が高く保たれるため、ビニールハウスなどを利用して野菜の成長を早める促成栽培に適した環境となっています。一方、千島海流（親潮）やリマン海流は寒流であり、気温を下げる働きをします。